

関西ミドルボート選手権 SAILING INSTRUCTIONS

[NP]の表記は、艇は、他艇の規則違反に対し抗議できないことを意味する。これは、RRS 60.1(a)を変更している。
[SP]の表記は、レース委員会が審問なしに標準ペナルティを適用することができることを意味する。レース委員会は抗議することもでき、その場合は審問を経てプロテスト委員会の裁量でペナルティが決定する。

1. 規則

- 1-1 本レガッタには『セーリング競技規則』に定義された規則を適用する。
- 1-2 IRC CLASS は IRC Rule 2021 を適用する(但し、以下を変更する)。
 - 1-2-1 艇に搭載するセールを変更することができる(21.1.5(d)の変更)。
 - 1-2-2 乗員は証書記載のクルー人数×85kgの合計体重(自主申告)以内とする。
 - 1-2-3 PART D は適用しない。
- 1-3 IRC CLASS は最新の JSAF-OSR 付則 B インショアレース用特別規定および OSR 国内規定を満たしていること。

2. 帆走指示書の変更

- 2-1 帆走指示書の変更は、それが発効する出艇申告受付開始前に掲示される。

3. 選手とのコミュニケーション

- 3-1 競技者への通告は、関西ヨットクラブ南側テラスに設置された公式掲示板に掲示される。
- 3-2 レース・オフィスは関西ヨットクラブ事務局に位置する(0798-26-0691)。
- 3-3 レース委員会は、水上では VHF 無線チャンネル 72 で競技者をモニターし交信を行う場合がある。
- 3-4 以下の連絡は、レース委員会が VHF 無線チャンネル 72 で行う場合がある。
ゼネラル・リコール、又はリコール艇の呼び出し。
- 3-5 [DP][NP]レース中、緊急の場合を除き、艇は、音声やデータを送信してはならず、かつ、全ての艇が利用できない音声やデータ通信を受信してはならない。ただし 3-3 項および 3-4 項の交信は除く。

4. 行動規範

- 4-1 [DP] 競技者および支援者は、レース委員会からの合理的な要求に応じなければならない。
- 4-2 [DP] 競技者および支援者は、主催団体によって提供された広告の掲載を、その使用に関する指示に従い、その機能を妨げることなく、実行しなければならない。

5. 陸上で発せられる信号

- 5-1 陸上で発せられる信号は、関西ヨットクラブ 2 階デッキのポールに掲揚される。
- 5-2 回答旗が陸上で掲揚された場合、レース信号『回答旗』中の「1分」を 30 分以降と置き換える。

6. レース日程

6-1 2021 年	8 月 21 日(土)	09:00~09:20	受付、出艇申告
		09:20	艇長会議
		10:55	予告信号(Windward-Leewardコース)
		16:00	オーナーズミーティング
	8 月 22 日(日)	09:00~09:10	出艇申告(乗員の追加、変更時のみ)
		10:25	予告信号(Windward-Leewardコース)

7. クラス旗

- 7-1 クラス旗は IRC CLASS はグリーン旗、WHITE SAIL CLASS は KYC クラブ旗とする。

8. レース・エリア

- 8-1 レース・エリアは新西宮ヨットハーバー沖とする。

9. コース

- 9-1 SI 付属文書「コース図」の見取り図は、レグ間の概ねの角度、通過するマークの順序、それぞれのマークをどちら側に見て通過するかを含むコースを示す。
- 9-2 予告信号以前にレース委員会の信号船に、最初のレグのおおよそのコンパス方位および距離を掲示する。
- 9-3 最初の風上マークが設置されていない場合、掲示された位置にあるものとみなす。

10. マーク

10-1 マーク①及びマーク②はオレンジ色の直径約 2m、高さ約 1.5mのトマト型ブイを使用する。

10-2 マーク①a はオレンジ色の直径約 0m、高さ約 1.0mのトマト型ブイを使用する。

10-3 マーク①b はピンク色の直径約 1m、高さ約 1.5mの涙型ブイを使用する。

10-4 SI13 に規定される新しいマーク①及びマーク②は、グリーン色の直径約 2m、高さ約 1.5mのトマト型ブイを使用する。

11. 障害物

空番

12. スタート

12-1 その日の次のレースの予告信号は、レース委員会の信号船に掲揚されている、R 旗の降下(反復音響信号とともに)の、1 分後に発せられる。

12-2 スタート・ラインは、スターボードの端にある信号船上のオレンジ旗を掲揚しているポールと、ポートの端のスタート・マークのコース側の間とする。

12-3 スタート信号時に艇体の一部がスタート・ラインのコース側にあり、その艇が特定される場合には、レース委員会はそのセール番号を声かけるように努める。番号が声かけされなかったり、声かけが聞こえなかったり、または艇が声かけされた順序の間違ひは、救済要求の根拠とはならない。これは RRS 62.1(a)を変更している。

12-4 スタート信号後 5 分以内にスタートしない艇は、審門なしに『スタートしなかった(DNS)』と記録される。これは付則 A5.1 と A5.2 を変更している。

13. コースの次のレグの変更

13-1 コースの次のレグを変更するために、レース委員会は、新しいマークを設置し(またはフィニッシュ・ラインを移動し)、実行できれば直ぐに元のマークを除去する。その後の変更で新しいマークを置き換える場合、そのマークは元のマークで置き換える。この場合、レース委員会の信号船に新しいマークのコンパス方位及び距離を掲示する。これは、RRS 33 を変更している。

14. フィニッシュ

14-1 フィニッシュ・ラインは、スターボードの端にあるレース委員会の信号船上の青色旗を掲揚したポールと、ポートの端のマーク②のコース側の間とする。

14-2 コース短縮の場合、フィニッシュラインは、レースコミッティーの信号艇のブルー旗を掲揚したポールとコースの最も近いマークとの間とする。

14-3 レースコミッティーが、その日の次のレースを予定する場合、レース委員会の信号船は、先のレースのフィニッシュ時に、R旗を掲揚する。続くスタート手順は、先のレースで最終艇がフィニッシュした後、できるだけ早く開始される。

15. ペナルティー方式

空番

16. タイムリミット

16-1 スタート信号後 120 分、または先頭艇がスタート信号後 120 分以内にフィニッシュした場合は、そのフィニッシュ後 30 分、のいずれか遅いほうの時刻までにフィニッシュしなかった艇は DNF と記録される。これは RRS 35 と A4 を変更している。

17. 審問要求

17-1 抗議締切時刻は、そのクラスのその日の最終レースの最終艇がフィニッシュした後、またはレース委員会が、本日これ以上レースは行わないという信号を発した後、どちらか遅い方から 90 分とする。時刻は公式掲示板に掲示される。

17-2 審問要求の様式は、関西ヨットクラブにあるレース・オフィスで入手できる。

17-3 審問の当事者であるか、または証人として名前があげられている競技者に、審問のことを知らせるため、抗議締切時刻後 30 分以内に通告が掲示される。審問は、関西ヨットクラブにあるプロテスト・ルームにて掲示された時刻に始められる。

18. 得点

18-1 シリーズの成立には、1レースを完了することが必要である。

18-2 艇のシリーズ得点は、全レースの得点合計とする。これは RRS A2 を変更している。

19. 安全規定

- 19-1 [DP][NP]個人用浮揚用具に関し、RRS 40.1 を適用する。個人用浮揚用具はすべての着衣の上に装着しなければならない。
- 19-2 [DP][NP]レースからリタイアする艇は、最初の妥当な機会にレース委員会に伝えなければならない。

20. 乗員の交代と装備の交換

空番

21. [DP]装備と計測のチェック

- 21-1 艇または装備は、クラス規則、レース公示及び帆走指示書に適合しているか、いつでも検査されることがある。

22. チャーター艇

空番

23. 運営船

- 23-1 運営船は OFFICIAL 旗を掲揚する。PROTEST 旗、JURY 旗、PRESS 旗を掲揚している艇も運営船である。

24. [DP] [NP]支援チーム

- 24-1 チーム・リーダー、コーチとその他の支援者は、最初にスタートする準備信号から、すべての艇がフィニッシュするまたはリタイアする、もしくはレース委員会が延期、ゼネラル・リコールまたは中止の信号を発するまで、レースに影響するエリアにはならない。

25. ごみの処分

空番

26. [DP][NP]停泊

- 26-1 レース公示を参照

27. [DP][NP]上架の制限

- 27-1 艇は、レース委員会の事前の書面による許可があり、その条件に従っている場合を除き、大会期間中は上架してはならない。

28. 潜水用具とプラスチック・プール

空番

29. 賞

- 29-1 賞は次の通りとする。

IRC CLASS は総合第 1 位より第 3 位までの艇に賞を授与する。

IRC CLASS でグループ A とグループ B の区分が実施された場合は、各グループの第 1 位より第 3 位までの艇に賞を授与する。

WHITE SAIL CLASS は総合第 1 位の艇に賞を授与する。

30. リスク・ステートメント

- 30-1 RRS 3 には『レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任は、その艇のみにある。』とある。大会に参加することによって、それぞれの競技者は、セーリングには内在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であることに合意し、認めることになる。これらのリスクには、強風、荒れた海、天候の突然の変化、機器の故障、艇の操船の誤り、他艇の未熟な操船術、バランスの悪い不安定な足場、疲労による傷害のリスクの増大などがある。セーリング・スポーツに固有なのは、溺死、心的外傷、低体温症、その他の原因による一生消えない重篤な傷害、死亡のリスクである。

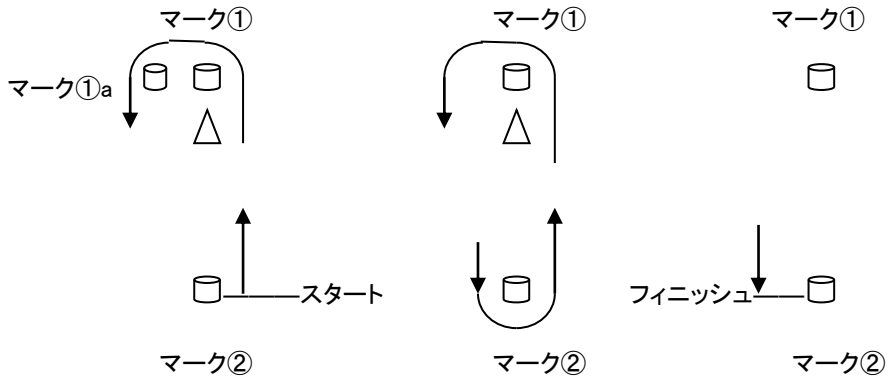
- 30-2 新型コロナウイルス感染症の感染予防、拡大防止には十分注意すること。

コース図

コース (Windward-Leewardコース 4 レグ)

IRC CLASS

スタート-マーク①-マーク①a-マーク②-マーク①-フィニッシュ



WHITE SAIL CLASS

スタート-マーク①b-マーク②-マーク①-フィニッシュ

